

# 福祉灯油購入助成の継続実施を求める要望書

2007年11月20日

洞 爺 湖 町  
町 長 長崎良夫 様

(提 出 者)  
洞爺湖町生活と健康を守る会  
会 長 津 崎 孟  
洞爺湖町高砂町 120 番地  
電話 74-2515  
新日本婦人の会虻田支部  
支部長 松 本 ます子  
洞爺湖町高砂町 116-20  
電話 76-2613  
日本共産党洞爺湖町委員会  
委員長 立 野 広 志  
洞爺湖町入江 190-361  
電話 76-5766

## 【要望趣旨】

原油価格の高騰により、灯油等石油製品の価格が毎年値上がりが続いており、町民生活に深刻な打撃を与えております。特に、これから冬期間は灯油に頼らざるを得ない当町では、灯油価格の高騰が家計を直撃し、特に所得の少ない家庭にとってきわめて深刻な事態が想定されます。

石油情報センターが、11月14日発表した11月12日現在の石油製品の価格動向調査によると、最需要期迎える灯油は、18リットル当りの店頭価格が前週比11円上昇して1,605円となり、はじめて1,600円を突破しました。これは石油価格の高騰を理由に、石油元売各社が11月の卸値を大幅に上げたためで、石油製品の値上がりがとまらない状況です。

当町は、住民団体の請願や議会質問によって、2005年度より「福祉灯油購入助成」（略称：福祉灯油）を実施しておりますが、助成対象や年齢の制限があるものの受給者からは大変喜ばれているところです。

本年度は昨年度に増して、灯油価格の更なる値上げが懸念されるだけに、助成対象世帯の緩和で支給世帯を増やすなど、引続く福祉灯油の実施を求めるものです。

## 【要望事項】

- (1) 本年度も継続して「福祉灯油助成」の実施をしていただきたい。
- (2) 実施開始時期を1月とせず、正月前の12月からにしていきたい。
- (3) 助成対象世帯はこれまで、生活保護受給世帯を除く、老人世帯（65歳以上）・重度心身障害者世帯・ひとり親世帯の生活困窮者とされてきました。これを緩和し、64歳以下の生活に困窮している世帯にも助成ができるようにしていきたい。
- (4) 政府は石油業法の廃止など、規制緩和政策を続けてきました。そのため、投機資金の大量流入の影響が大きく、異常な原油高になっています。エネルギーの安定供給は政府の責任です。石油製品の安定供給をはかり、過去の利益を還元するよう石油元売各社に政府が指導し、便乗値上げの調査・監視を講ずるよう求めています。